

保険・年金 フォーカス

NAIC の 2020 年 Annual Report (年次報告書)からの抜粋報告 —NAIC の問題意識とそれへの対応等—

取締役 保険研究部 研究理事 中村 亮一
TEL: (03)3512-1777 E-mail: nryoichi@nli-research.co.jp

1—はじめに

NAIC（全米保険監督官協会）は、2021年4月12日に、2020年のAnnual Report（年次報告書）を公表¹している。

今回のレポートは、「Stronger and More Resilient」との副題が付けられた、このNAICのAnnual Reportからの抜粋を紹介することで、米国の州監督当局が、各種の具体的な課題に対して、どのような課題意識を持って、どのような対応を行ってきたのか、あるいは今後の見通しとして、これからどのように対応していこうとしているのかを報告する。

なお、こうした課題に関して、NAICは、2021年2月9日に、2021年の規制上の優先事項を公表している。この概要については、保険年金フォーカス「[NAICが2021年の規制上の優先事項を公表—問題の所在と現在の取組状況等—](#)」（2021.3.5）で報告しているので、こちらも参考にいただきたい。

2—NAIC の 2020 年の Annual Report(年次報告書)の概要

1 | 全体像

NAICの公表によれば、今年のレポートのテーマは「弾力性（resiliency）」としている。NAICとそのメンバーがどのように変化を受け入れ、消費者を保護し、米国の安定した保険市場を確保するために行動を起こしたかに焦点を当てている。

「2020年に、組織はテクノロジーを適応させ、サービスを展開し、メンバーと一般の人々を新しく革新的な方法で関与させた。これらの取り組みにより、メンバーはパンデミックに適応する能力が強化され、戦略的優先事項や、人種や保険、気候や耐性力などのより大きな社会問題に引き続き焦点を当てることができた。」としている。

¹ https://content.naic.org/article/news_release_naic_releases_2020_annual_report.htm

2 | NAIC の CEO と COO の書簡よりの抜粋

NAIC の CEO の Michael F. Consedine 氏と COO の Andrew J. Beal 氏は、今回の Annual Report の中で、以下のように述べている。

2019 年の作業に続いて、私たちは戦略的優先事項の野心的な予定表で今年に入った。介護保険、気候リスク、ビッグデータと人工知能、及びグループ資本は、私たちの議題の中で最も重要な問題だった。その他の重要な問題は次の通りである。

- ・サプライズ請求法の提唱
- ・全米洪水保険プログラム (NFIP) の再承認の促進
- ・健康保険の安定化に関する議会公聴会での証言
- ・State Ahead 戦略計画の継続的な実施

3 月までに、私たちは在宅勤務のプラットフォームに軸足を移し、パンデミックとそれに関連する課題を To Do リストに追加した。私たちが実装したプロセスとテクノロジーのおかげで、私たちはより強く成長し、より効率的になった。

NAIC には、最も困難な時期に保護と安定性を提供するという長い伝統がある。これは特に 2020 年に当てはまった。パンデミックが発生したとき、私たちは一夜にして大きく方向転換をした。メンバーが消費者の保護と健全な保険市場の維持に引き続き注力できるように、メンバーをより適切にサポートする方法に焦点を当てた。

このレポートでは、2020 年の間の、NAIC、メンバー、及びそのスタッフの並外れた取り組みについて概説している。テクノロジーを適応させ、サービスを展開し、メンバーと一般の人々を新しい革新的な方法で関与させた。私たちは社会的に距離を置いていたが、決して切断されなかった。

パンデミックの間、私たちはこの特異な問題の外で、私たちの国と世界を形作る他の力、具体的には人種と平等、そして気候と耐性力に目を向けた。NAIC のメンバーが集まり、これらの問題に取り組むために大胆な措置を講じた。

3 | 取り上げられているテーマ

目次の中で取り上げられているテーマとしては、例えば以下の項目が挙げられている。これらの具体的な内容について、順次紹介していくこととする。

- ・ COVID-19 への規制対応
- ・ 人種とダイバーシティ
- ・ 人工知能 (AI)
- ・ 気候と耐性力
- ・ 災害時の準備とリカバリー
- ・ 介護保険
- ・ グループ資本の計算

3—COVID-19 への規制対応

NAIC は、「野心的な一連の優先事項から 2020 年を開始した。3 月、パンデミックの潜在的な影響が明らかになったとき、私たちはすぐに単一の焦点である、消費者を保護し、前例のない時代を通じて保険セクターの安定と運営を確保するために設計された一連のイニシアティブ、に軸足を移した。」として、具体的には以下の対応を行ったとしている。

1 | 優先事項 1 : COVID-19 への対応の管理が最優先事項となった。

私たちは、取られた行動を詳述した 3 つの公開報告書を発表した。

- 1 月 1 日から 5 月 31 日にかけての州保険当局の措置について論じている NAIC の報告書
The State Insurance Regulatory Response to COVID-19 Update 1
- 6 月 1 日から 9 月 30 日までの規制措置について論じている NAIC の報告書
The State Insurance Regulatory Response to COVID-19 Update 2
- COVID-19 の全活動の概要をまとめた 2020 年報告書

2 | 消費者保護と安定確保のための迅速な行動

(1)健康保険

NAIC はメンバーの議論を促進し、州の保険部門が COVID-19 の検査と治療へのアクセスと費用負担の問題に対処するために迅速な行動をとることにつながった。全米で NAIC のメンバーは、費用負担なしに検査を提供するイニシアティブを実施し、消費者の健康保険へのアクセス拡大に努めた。ほぼ全ての州が、COVID-19 のテストのために消費者のコスト負担を取り除こうとした。

州はまた、早期処方薬の補充を保険会社に要請したり、委託したりしなければならず、アウトブレイクの間に必要な薬剤へのアクセスを容易にするための他の措置を講じた。州の保険部門もテレヘルスサービスへのアクセスを拡大するために取り組んできた。多くの州の保険規制当局は、保険会社に対し、加入者に保険料の支払期限の延長、解約の一時停止、小規模事業者への適用範囲の拡大を求め、又は要求した。

パンデミックが始まって以来、NAIC は米国保健社会福祉省 (HHS)、連邦メディケア・メディケイドサービスセンター (CMS)、米国労働省 (DOL) などの連邦機関と定期的に連携し、健康保険に関する州と連邦の取り組みを調整してきた。この取り組みは、連邦保健当局が取った行動に反映されている。同様に、NAIC は、健康保険市場を安定化又は支援するための連邦政府の取り組みが調整され、効果的であり、州の取り組みを補完することを確実にするのを支援するために、引き続き米国議会と直接関わっている。

(2)生命保険

パンデミック (世界的大流行) に対応して、一部の州は生命保険会社に保険料の支払いを延期し、解約や更新を停止するよう求めた。一部の州では、消費者は繰延払いを返済するために最長 1 年間の猶予を与えられた。また、生命保険会社には、延滞料や違約金の免除や保険料の支払いのための払方プランを認めるよう指示した。

(3)自動車保険

多くの州では、自動車保険会社に対して、その殆どがパンデミックの最中に走行距離を大幅に減らしている、運転者への保険料の払戻しや割引の実施を義務付けたり奨励したりしている。保険情報協会 (III) は、消費者への払戻し、割引、配当金、その他のクレジットが合計で約 105 億ドルと推定している。NAIC は州の保険規制当局と協力して、モデルの格付けに長期的な調整が必要かどうかを判断するためにデータの評価を続けている。

(4)事業中断保険

州の保険監督当局は、COVID-19 に関連する市場規模、除外範囲、請求及び損失の範囲を評価するために、事業中断補償を引き受けている保険会社から重要なデータを収集するために共同で取り組んだ。最初の分析では、83%の契約でウイルス、細菌、パンデミックが除外されており、ほぼ全て (98%) の契約で物理的な損失が要求されている。保険はうまく機能しており、比較的少数の保険請求がより広範なグループに分散している場合に手頃な価格となっているので、これは驚くべきことではない。

したがって、殆ど全ての保険契約者が長期間にわたって同時に重大な損失を被る世界的なパンデミックには、通常は適していない。

NAIC は、保険セクターのソルベンシー及び潜在的にはより広範な金融システムに与えるリスクを考慮して、遡及適用に反対する方針声明を発表した。事業中断補償の遡及適用については、いくつかの連邦及び州の提案がある。

10 月、NAIC は、この問題が進展する中、特にパンデミックのリスクに対する事業中断の適用範囲を広く確保するための連邦機構の創設を支援するために、米国議会に關与する我々の努力を導く方針を採択した。保険セクター又は保険契約がそのような保障を容易にするために使用される手段である限り、いかなる連邦制度も、保険消費者を保護するために州の保険規制当局を弱体化させないことが重要である。それは保険会社の財政状態を危うくしてはならず、保険契約者に負担可能でなければならない。NAIC の政策声明とデータは、この問題に関する米国下院による 11 月 19 日の公聴会で引用された。

(5)生産者ライセンス

NAIC は、加盟組織である National Insurance Producer Registry (NIPR) 及び州の保険部門と協力して、生産者の報告及びライセンス要件の整合性を維持するために設計された様々な問題に取り組んできた。また、生産者ライセンスに関連した 140 件を超える注文や速報を受け、新たな動きを確認した。NAIC の State Based Systems (SBS) は、複数の州にまたがる 105,000 を超えるライセンスの有効期限を延長することで、各州の対応を支援し続けた。

保険会社は毎日、アメリカ人と直接接触し、彼らが財政的、個人的福祉について重要な決定をするのを支援している。このニーズは、経済が不安定なこの時期に高まっている。私たちの義務は、保険会社が責任を果たすための知識と人格を持っている生産者を通じて、消費者の保険商品に対する需要を満たすことができるようにすることである。

(6)貴重な資源と教育の提供

NAIC のコロナウイルス・リソース・センターは、パンデミックへの NAIC メンバーの対応に関する単一の情報源を提供している。コロナウイルス・リソース・センターは、国民が全国で取られた対策を把握するのに役立つ 1,000 以上の州の速報、行動、警報のデータベースを含んでいる。また、州

保険局と NAIC は、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）に関連した保険の適用範囲について消費者を教育し、COVID-19 関連の詐欺の可能性について警告することを目的とした資料を作成した。

(7)規制当局や政策立案者との調整

我々は、保険監督者国際機構（IAIS）において、国家規制システムのベスト・プラクティスを共有するための世界的な規制当局へのパイプ役として、様々なプロジェクト及びワークストリームへの積極的な関与を継続した。各国の規制当局と NAIC のスタッフは、国際通貨基金（IMF）／世界銀行の金融セクター評価プログラム（FSAP）の報告書の最終化にも取り組んだ。COVID-19 の事業範囲と影響をより深く理解するとともに、新興技術、ビッグデータ、気候変動リスクなどの前向きな課題に継続的に取り組んでいくために、主要な規制当局とのバーチャルな対話を確立した。また、連邦政府機関や州の保険規制当局と様々な問題について協力し、連邦政府の規制案に対応した。COVID-19 による災害対応の変化に対する連邦緊急事態管理庁（FEMA）との調整から、州と連邦政府の健康保険への取り組みを調整するために HHS や CMS と緊密に協力するまで、NAIC とそのメンバーは引き続き、州の規制上の存在感と見解を主張した。

(8)COVID-19 における健全な市場の維持

NAIC の努力の結果、保険セクターは危機のこの時期にも引き続き強さと耐性を示している。世界的なパンデミックの最中であっても、消費者は政策の恩恵を受け続けていた。これは、歴史的な数の自然災害が米国中で起こったことを考えると、特に重要である。州の保険監督当局は、COVID-19 が提示した重大なストレスを考慮して、保険会社が保険契約者の請求を支払い続ける能力を確保するために、保険会社の財務健全性を監視した。我々は、パンデミックの真の影響を理解するためにデータを収集し、保険会社と消費者の負担を軽減するためのガイダンスを実施した。企業のエクスポージャーを評価し、影響を受けるリスクの高い商品を保有している企業と、金利引き下げや市場の低迷でリスクが高まっている企業を特定した。事業中断、労働者補償、旅行保険のためのライン固有のデータ要求を開発し、生命保険会社と協力して流動性に対する経済的ストレスを評価した。

具体的には、州保険監督当局と NAIC は以下のことも行っている。

- ・資本市場を監視し、景気後退が保険会社の資産に与える潜在的影響を評価するために使用する報告書を州に提出することを含め、COVID-19 に対する企業のエクスポージャーを特定し、評価した。
- ・州の保険監督当局が 2021 年の健康保険の保険料率の申請を審査する際に使用する、COVID-19 の仮定に関する資料とガイダンス文書を作成した。
- ・期限を過ぎた住宅ローンの取扱いに関する新たな会計及び報告のガイダンスを提供し、いくつかの救済及びガイダンスを提供するために四半期毎の申請の期限を提供した。
- ・レポート作成とライセンス要件の整合性を維持すると同時に、シェルター・イン・プレース命令を効果的に処理するためのプロセスを合理化した。
- ・新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）への対応に関するガイダンスを標準的な事業中断契約として発行し、多くの契約でウイルス、細菌、パンデミック（世界的大流行）が除外されており、殆どの契約で物理的な損失が必要であることを事業主に警告した。

世界市場の格付けを行っている S&P の最近のグローバル・レポートは、保険業界が COVID-19 にどのように対処してきたか、それが業界の資本バッファにどのような影響を与えているかを分析している。2020 年 9 月に発表された報告書は、こうしたバッファの全体的な耐性を指摘し、ストレステストの結果、北米の保険会社が世界で最も耐性の高い地域であることが判明した。このようなテストでは、保険会社の全体的な資本力、リスク管理、資産配分を考慮する。米国の州保険規制当局は、この地域の耐性の一部は、ソルベンシー、コーポレート・ガバナンス、グループ監督に関連するものを含め、過去 10 年間に規制制度になされた改善と進歩にあるとしている。

4—人種とダイバーシティ

何千人もの米国人がアフリカ系米国人の無分別な死に抗議した時、私たちは歴史的な転換点に直面した。我々は、これらの問題について、保険セクターを強化し、リードしなければならないことを認識した。

NAIC のメンバーは、NAIC 史上初めて人種と保険に関する特別委員会を創設した。この委員会は、5 つの重要なワークストリームに焦点を当て、歴史的に過小評価されてきたグループにより良いサービスを提供するための行動ステップに関する勧告を行う。委員会は以下の責務を負う。

- ・保険セクターにおけるダイバーシティ&インクルージョンのレベルを調査・分析する。
- ・保険分野及び保険商品への人種、ダイバーシティ&インクルージョンへのアクセスに関連する問題について、幅広いステークホルダーと連携する。
- ・有色人種²や歴史的に過小評価されてきた集団の人々に不利になる可能性のある、保険セクターにどのような現行慣行又は障壁が存在するかを調査し、決定する。
- ・州の保険規制当局と保険業界の双方が、業界内のダイバーシティ&インクルージョンを高め、有色人種²や歴史的に過小評価されてきた人々に不利になる可能性のある慣行に対処するために取ることができる措置について、執行委員会と NAIC のメンバーに勧告する。

特別委員会の勧告は、今後何年にもわたって NAIC が人種とダイバーシティに長期的に関与するための土台を作ることになる。NAIC は内部的には、模範を示してリードするというコミットメントを示している。

NAIC は従業員を基盤としたダイバーシティ・公平性・インクルージョン (DE&I) 協議会を設立し、NAIC の経営陣と緊密に連携して文化的変革を推進する権限を与えられた。今年 DE&I の初代ディレクターも採用した。2020 年末までに DE&I 理事会は以下の戦略的イニシアティブを実施した。

- ・DE&I SharePoint サイトを構築した。このサイトにはダイバーシティに関するリソースが格納されており、全ての NAIC スタッフがアクセスできる。
- ・全スタッフが毎月、幅広い話題について話し合うための方法として、昼食&学習を導入し、「N.A.I.C.U Exchange」と名称を変えた。
- ・In Memoriam ビデオを作って、私たちの社会に影響を与えた人々の生死を明らかにした。

² NAIC の使用している原語「people of color」の翻訳として使用している。

5—人工知能

NAIC のメンバーは、一連の人工知能（AI）原則を採択した。この原則では、説明責任、コンプライアンス、透明性、安全で確実な成果の重要性を強調し、保険業界全体の企業、専門家、及び利害関係者が AI ツールを実装する際の一般的な期待を伝え、明確にしている。人工知能ワーキンググループによって策定された AI 原則は、経済協力開発機構（OECD）の AI 原則に基づいており、米国を含む 42 カ国で採択されている。AI 原則は、ビッグデータを活用した保険契約の適切かつ十分な情報に基づく規制にさらに取り組む上で、NAIC 加盟州にとって重要な指針となる。

6—気候と耐性力

米国は、2020 年 10 月に上陸した名前付きの熱帯暴風雨の数において 1916 年の記録を破り、歴史的な山火事が西部の州を破壊し、被害を与えた暴風雨が中西部を襲った。ここ数年、資産損害保険委員会は気候問題を優先課題としてきたが、2020 年に NAIC のメンバーが強化され、気候と災害対策タスクフォースが設置された。タスクフォースは、執行委員会に直接報告を行い、組織の戦略的優先事項として気候リスクに対処することで、問題をより高いレベルに引き上げる。

タスクフォースのメンバーは、保険セクターにおける適切な気候リスクの開示を検討し、金融規制アプローチの評価、気候リスクと耐性力に対する革新的な保険者の解決策の調査、保険業界に関連する持続可能性、レジリエンス、緩和の問題と解決策の特定をしている。

NAIC メンバーは、2018 年と 2019 年に民間の洪水市場に関する情報を収集するためのデータコールを作成した。全ての州とコロンビア特別区は、洪水保険の民間市場の規模についての情報を州保険当局に提供するためのデータ収集に参加することに同意した。さらに NAIC のスタッフは、竜巻、ハリケーン、山火事後、保険会社からの請求データの収集と分析において 7 つの州を支援した。

7—災害時の準備とリカバリー

連邦緊急事態管理局及び損害保険委員会と連携して、NAIC コミュニケーション部門は COVID-19 から身を守りながら、災害時に備えて安全に準備し、避難し、退避するためのアドバイスを行う What the Flood! キャンペーンを拡大した。このキャンペーンは、Public Relations Society of America (PRSA) から Best in Show PRISM Award を、Association of Marketing and Communication Professionals (AMCP) から Gold MarCom Award を受賞した。

2002 年に初めて採択され、今年更新された NAIC 州災害対応計画は、災害対応計画を作成するためのテンプレートを州保険部門に提供している。この文書は、自然災害の計画と復旧、NAIC 災害支援へのアクセス方法、災害対応とインシデント管理チームの役割と責任に関するガイダンスについての情報を州保険監督当局に提供している。

8—介護保険

長期介護保険は、ソルベンシー規制と消費者保護の緊張のバランスをとる方法を模索していたため、州の保険監督当局に引き続き課題を提示した。介護保険タスクフォースは、以下の2つの主要文書を作成した。

- ・介護保険 (LTCI) 料率値上げに伴う給付削減オプション
- ・料率値上げと給付削減オプションの質の高い消費者通知を確保するための指針

タスクフォースは現在、複数州の LTCI 料率審査プロセスのための規制枠組みを策定中である。さらに、複数州の料率レビュー保険数理チームを任命し、複数州の料率レビュー&アドバイザー・レポートのための初の規制当局間パイロット・プロジェクトを完了した。

その他の NAIC グループは、LTCI に関する目標の達成に向けて前進を続けている。

- ・高齢者問題専門調査会は、介護保険モデル法 (#640) 及び介護保険モデル規則 (#641) の検討を担当する「介護保険モデル・アップデート・サブグループ」を結成した。
- ・準備金評価分析ワーキンググループは、アクチュアリアル・ガイドライン 51—The Application of Asset Adequacy Testing to Long Care Insurance Reserves (AG 51) で求められている申請書類の3年目の見直しや、高齢者の罹病率及び COVID-19 の影響に関する不確実性（しかし、これらに限定されない）など、特定された準備金積立問題についての州及び企業へのアウトリーチを実施した。
- ・介護保険数理ワーキンググループ及びそのサブグループは、準備金積立基準及び報告要件に対応して、保険数理問題について進展をみた。例としては、介護保険給付減額オプションサブグループの業務に関連する LTCI キャッシュバリュバイアウトオプションに関する議論があり、最近、年次財務諸表に改訂された LTCI の経験報告を採用した。

9—グループ資本の計算

年初、NAIC のスタッフは重要なフィールドテストを完了し、グループ資本計算 (GCC) を取り巻くいくつかの主要な問題に関する議論が進展した。他の戦略的イニシアティブとともに、GCC の作業は4月に中断され、NAIC のスタッフと州の保険当局は COVID-19 の問題に注意を向けた。GCC に関する作業は6月に再開され、GCC の実施に向けて、グループ資本計算作業部会と利害関係者が残りの計算に関する技術的問題の解決に焦点を当て、保険持株会社制度規制法 (#440) 及び報告様式・指図による保険持株会社制度モデル規則 (#450) を改正した。GCC ならびにモデル#440 及びモデル#450 の改訂案は、秋期全国会議において採択された。

10—将来の見通し

NAIC は、「2020 年は予測がつかなかったが、2021 年には NAIC とメンバーが新たな課題に直面することになるだろう。」として、具体的に以下の見通しを述べている。

1 | COVID-19 の継続的な影響

COVID-19 は 2021 年に入っても、NAIC とその加盟州、より大きな保険セクター、そして米国経済と世界経済に影響を与え続けるだろう。ワクチンの利用可能性と拡大された検査オプションに関する

る最近の発表は、「ニューノーマル」への転換を開始するかもしれないという楽観主義のためのある程度の尺度を提供しているが、この歴史的なパンデミックが業務、保険会社のソルベンシー、商品設計、消費者保護などに及ぼす短期的及び長期的な影響については、依然として不明な点が多い。

NAIC とそのメンバーは、消費者が手頃な価格で検査、治療、予防接種を受けられるようにすることに引き続きコミットしている。我々は、得られた教訓を把握し、金融市場を監視し、提案された解決策の影響を評価するため、引き続き連邦及び国際的な規制当局と調整する。

2 | 気候と耐性力

気候に関連した損失の大きさは、山火事のような、これまで保険が適用されていたリスクに課題をもたらした。保険でカバーされる費用の割合が低下しているにもかかわらず、業界のエクスポージャーは増加している。

NAIC は、気候と耐性力を優先する立場にあり、NFIP や民間市場の代替案への対応を含め、重要な気候関連リスクに対処するために、議会、バイデン政権、連邦政府機関と協力する。

気候と耐性力タスクフォースは、気候リスク、大災害のモデル化、緩和に対処するためのアプローチの評価とレビューを継続し、業界内の持続可能な解決策を特定する。タスクフォースは、他の NAIC 委員会と密接に協力して、国家問題に取り組み、各州に情報とツールを提供して個々の市場を支援している。

州の規制当局は、利用可能な緩和技術とインセンティブについて消費者を教育するために、NAIC と協力して消費者教育キャンペーンを拡大する。

3 | 事業中断

COVID-19 のパンデミックに関する請求は、事業中断やイベント中止に関する契約（その他の事業契約）により、大部分がパンデミックやウイルスを排除し、物理的な損失要件を有しているため、ほぼ否定されている。我々は、連邦議会が、パンデミックに関連するビジネス上の請求に対処するため、様々な可能性のある連邦プログラムを引き続き評価することを期待する。NAIC は、このリスクに対処するために何らかの連邦機関が必要であることを認める政策的立場を共有しており、我々は引き続き議会及びその他の利害関係者に連邦機構の進展についての指針を提供する。

4 | 介護保険

介護保険（LTCI）市場は、1960 年の LTCI の導入以来、大きく発展した。2010 年には、LTC サービスへの米国の支出は国内総生産の約 1%だったが、2050 年までに、それは 3%に増加すると予想されている。

NAIC は、LTCI の保険数理上及び財務上のモニタリングを継続し、責任準備金の妥当性と保険会社のソルベンシーを評価する各州の取り組みを支援する。また、LTCI 市場でのイノベーションを模索し、既存の契約者により多くの選択肢を提供する方法を模索している。

5 | ビッグデータと人工知能

州の規制当局は、保険セクター内での消費者・非保険データの利用から生じる便益や課題について疑問を提起する問題を引き続き見ている。保険分野のための人工知能（AI）原則の最近の採択に伴い。

保険セクターに AI 原則が採用されることで、業界のコンプライアンスを監視及び監督する規制慣行の策定に関連する期待が生まれるだろう。

州の規制当局は技術革新を奨励しているが、この情報とプライバシーの適切な適用に対する新技術の利点を評価し続けている。NAIC とそのメンバーは、保険契約者が公平に扱われ、情報が十分に保護されることを保証するために、スマートツールに関連する引受、価格設定、保険金請求のアルゴリズムとリスクモデルを引き続き精査する。

6 | 仮想化された労働力とサービスのトレンドの発展

現在のパンデミックは、柔軟なリモートワーク、純粹に仮想のビジネスプラットフォーム、「タッチレス」サービスなどに関連する既存のトレンドを拡大させた。NAIC 加盟州はこれらの進展に適応し、多くの場合、「規制緩和」や「規制緩和」が認められている。

私たちは今、これらの要請が継続されるべきか、又は恒久的になされるべきか、もしそうであれば、現在の法律や規制にどのような変更を加えなければならないのか、を評価しなければならない。州の保険監督当局が検討する具体的な分野には、電子商取引、規制能力、保険金請求の円滑化、サープラス保険に特有の慣行などがある。さらに、NAIC のメンバーは、より多くの仮想又はリモートのシステムや要員を検討しているため、NAIC はこれらの動向を考慮して、独自の業務戦略計画を適応させる必要がある。

7 | リスクモデリング

業界では、長年にわたってリスク管理を支援するためにモデリングを使用してきたが、この 1 年間、保険会社は、リスクとソルベンシーの自己評価 (ORSA) サマリーレポートを含め、モデリングとシナリオ予測をより広範に活用している。パンデミックが発生する以前は、多くの生命保険会社が死亡率と罹患率のストレスシナリオを ORSA サマリーレポートに記載しており、1918 年のスペイン風邪の規模のパンデミックに対応するために資本が確保されていた。過去 1 年間に、一部の保険会社は ORSA サマリーレポートのパンデミックのシナリオと資本モデリングを改善し、市場と経済のストレスを、以前に予測されていたパンデミックによる死亡率と罹患率への影響とより直接的に相関させた。NAIC はこの慣行がより一般的になることを期待している。パンデミックが進化し続ける中、NAIC は消費者保護という使命へのコミットメントを強化する強力な保険市場を維持している。私たちの総力を結集した結果、150 年の強靭さと耐性を誇る保険市場が誕生した。

8 | 米国/EU 及び米国/英国のカバードアグリーメント

各州は、「保険及び再保険に関する健全性措置に関する米国と欧州連合との間の二国間協定」(EU カバードアグリーメント) に関連した連邦による優先権を潜在的に回避するため、2022 年 9 月までに NAIC の再保険クレジットモデル法 (#785) 及び関連する保険持株会社制度規制法 (#440) の改善案を採択する必要がある。この新しいモデルの実施は、2021 年の州の立法上の優先事項となる。

9 | NAIC 内部 DE&I イニシアティブ

この内部イニシアティブは、上級管理職にとって最優先事項である。この組織は新しい DE&I 協議会を設立し、新しい DE&I ディレクターを雇用した。次の目標の一つは、採用、雇用慣行、従業員教

育・訓練、従業員の維持、キャリア・リーダーシップ開発、外部アウトリーチ／ネットワーキングなどの分野に焦点を当てた包括的な DE&I 計画を策定することである。この計画を成功させることは、NAIC が DE&I の分野で模範を示し続けるために重要である。

10 | 個人情報保護

様々な商業、金融、及びテクノロジー企業による消費者データの使用に関する消費者の認識と規制への懸念が高まっている。NAIC メンバーは、保険取引に関連して収集された情報の収集、利用及び開示にどのような消費者権利が適切であるか、また、適切な消費者保護が既存の NAIC プライバシーモデルに含まれているかどうかについて議論している。これには、保険者が顧客から収集したデータと、第三者ベンダーから保険者に提供されたデータを使用することが含まれる。

11—まとめ

以上、今回のレポートでは、NAIC が 2021 年 4 月 12 日に公表した 2020 年の Annual Report（年次報告書）の中から、各種の具体的な課題に関する内容について、報告してきた。

これらの課題のいくつかは米国固有のものであるが、一方でまた多くの課題は、米国だけのものではなく、世界各国の保険業界に共通する課題である。そのため EU における EIOPA（欧州保険年金監督局）やグローバルレベルでの IAIS（保険監督者国際機構）においても、同様のトピックに関する検討が行われてきている。

これらの課題は、日本の保険会社にとっても極めて重要な課題であることから、米国の NAIC における検討を巡る動向等については、今後も引き続き注視していくこととしたい。

以 上